



矢中だより

第6号

令和6年6月11日
由利本荘市立矢島中学校

修練の刻^{とき} 「黙想の刻」

『自主・敬愛』を校訓とする本校は、同時に「礼儀」を重んじる学校でもあります。学校行事や毎日の活動、授業を通して、この礼節を養っていくほか、年間の特別な時間を通して、自分を見つめる機会としています。この特別な時間が『修練の刻』と呼ばれるものです。

修練の刻の意義

- 一 落ち着いた気持ちでよいスタートができる
- 一 無言で素早い行動ができる
- 一 心身を鍛え礼節を重んじる精神が身に付く

○『修練の刻』は、次のように計画されています。

4月～ 9月 「第一歩 黙想の刻」 ～黙想を通して自己を見つめる～

10月～11月 「第二步 入魂の刻」 ～剣道を通して自己を鍛える～

5月28日（火）5校時にオリエンテーションを行い、11日（火）朝に1回目の『修練の刻』を行いました。



全校書道

5日（水）・7日（金）に地域の4名の書家の先生方を講師にお迎えして、本校の特色である「三道教育」の一つ「全校書道教室」を実施しました。

各学年とも席書大会の課題を指導していただきました。講師の先生方からは、上手に書くためのポイントを分かりやすく指導していただきました。また、生徒一人一人に対して筆づかいや文字のバランスなどについて、やさしくていねいにアドバイスしてくださいました。

生徒達は、筆先に精神を集中しながら、手本を見つめて少しでも上手に書こうと真剣に取り組んでいました。

お忙しい中、ご指導くださいました先生方、本当にありがとうございました。



1年：文武両道



2年：天地清新



3年：伝統を守る

地区総合体育大会 見せろ矢中魂！！

<各部主将の抱負>

◇野球部 主将 高橋純也

野球部は[EnjoyBaseball]をモットーに練習をがんばってきました。試合の緊張感の中にでも大好きな野球を心から楽しみ、12人全員で一丸となって戦い抜きたいと思います。一つ一つのプレーを大事にして、矢島らしくチーム全体で常に盛り上げ、優勝目指してがんばります。応援よろしくをお願いします。

◇剣道部 主将 小番麻皓

剣道部は、少ない人数の中、互いに声をかけ合い、地区総体に向けてがんばってきました。当日は、一人一人が練習の成果を発揮し、団体戦では男女共に優勝、個人戦では自分のベストを尽くせるようにがんばります。

◇柔道部 主将 高橋龍人

柔道部は、春季大会が終わってから今まで総体に向けて練習をしてきました。練習の日はあまり多くはなかったけど、総体で勝つためにチームで工夫し合ってきました。団体・個人どちらも県大会に行って良い成績をとれるようにがんばります。

◇男子卓球部 主将 佐藤大心

男子卓球部は、今年から格段に人数が増え、去年よりも忙しくなりましたが、毎日練習をがんばってきました。総体では、今までの練習の成果を存分に発揮し、精一杯がんばりますので応援よろしくをお願いします。

◇女子卓球部 主将 佐藤若菜

女子卓球部は、人数が足りず土曜日の団体戦には出場できませんが、日曜日の個人戦では、それぞれがベストを尽くし、精一杯がんばってきます。応援よろしくをお願いします。

◇バレーボール部 主将 茂木南歩

私たちは、ここまでレベルアップさせてきた力を全て出し切るためにも、自分のプレーに自信を持つこと、試合中に考えるのをやめないこと、お互いがお互いを鼓舞し合って、チームを最高の雰囲気にするのを全力でがんばります。全員がバレーボールを楽しみ、勝利をつかみ取ってくるので、応援よろしくをお願いします。

◇ソフトボール部 主将 佐藤朱莉

ソフトボール部は、5校の合同チームで由利中と戦います。秋季大会からこれまでたくさん試合をこなし、お互いに刺激を与えながらがんばってきました。総体では精一杯がんばり、優勝して県大会にのぞみます。応援よろしくをお願いします。